

第 3 学年 前期期末テスト 試験範囲

1 日目： 9 月 9 日（水）

時・教科	試験範囲	学習のアドバイス
1 校時 国 語	・『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』 P62～P65 ・『私』 P32～P46 ・『薔薇のボタン』 P50～P55 ・相手に対する配慮と表現 P114, P275～277 ・助詞、助動詞 ★単元別漢字 P14～P41 ★国語の学習 P14～24, 26～29, 55～60 ★文法ノート P92～110	・日頃から丁寧な楷書を書く習慣を身につけましょう。 ・何を問われているのかを理解し、それに合った解答を見極めましょう。 ・ワーク類は終わられることが目的ではありません。自分の力がつくように、繰り返し解きましょう。 ・文法の復習問題が出ます。しっかりと復習をしておきましょう。 ・作文の出題があります。書き方の確認と普段から書くことの習慣づけを行いましょう。 ★は提出課題です。 り期限に間に合うよう、計画的に進めましょう。
2 校時 社 会	歴史教科書 P.270～283 公民教科書 P.8～P.71 歴史のワーク P.教科書該当ページ 公民のワーク P.2～P.17 歴史資料集・公民資料集：教科書該当ページ	歴史は範囲が短いですが、きちっと復習をして、テストに臨みましょう。歴史のワークは中間テスト時に範囲になっていましたので、提出をする必要はありませんが、必ずもう一度解いてテストに臨みましょう。 公民は憲法を中心に問題がでます。憲法の条文をよく理解し、テストに臨みましょう。 ※提出物に関しては、各教科担任の指示のもと提出をしましょう。
3 校時 理 科	エネルギー ・教科書 P.205～243 ★理科の完全学習 P.100～119(ノート P.53～62) 生命 ・教科書 P.2～11 ★理科の完全学習 P.2～3(ノート P.1)	・授業で行った実験の方法や、実験から分かることを整理して覚えておきましょう。 ・重要語句（教科書の太字）は、意味も含めてしっかり理解して覚えておきましょう。 ★は提出課題です。 期限に間に合うよう、計画的に進めましょう。 (参考)教科書の力だめし 生命 P.40 1 エネルギー P.23 5 ～ 7

2 日目： 9 月 1 0 日（木）

時・教科	試験範囲	学習のアドバイス
1 校時 英 語	Unit 2 p.22～26 Real Life English Scene 2 p.27 Grammar for Communication 1 p.28・29 Unit 3 p.31～38 Grammar for Communication 2 p.41 <提出物> ◎英語のワーク(ノート)p.13～p.22	・問題文をよく読んで、スペルミスやピリオドの付け忘れがないように。また、文頭は大文字にするなどの基本的な英語のルールに気を付けて、試験に臨みましょう。 ◎提出物(ワークは丸を付ける。9/10(木) までに提出)※教科担任から提出日を伝えます。 ・ワークについては、 <u>学習ノート</u> に書いて提出です。間違えないようにしましょう。テスト直前は、ワークに直接書いて問題を解いてみましょう。繰り返し取り組むことで、基礎の定着を図ることができます。諦めずにやってみましょう。 ※英語のワーク(本誌)でのページは p.24～p.42 です。
2 校時 数 学	○教科書 P.52～P.91 「2 章：平方根」「3 章：二次方程式」 ○わかる数学(ワーク) P.36～P.75	・授業内で扱った問題や、ワークを用いて何度も復習をしましょう。思考・判断・表現の問題を多く出題する予定なので、ワークの C 問題などを使って解く練習をしておきましょう。 ・ワークは丸付けをして、間違えたところやわからなかったところは赤で途中式と答えを書き込んでください。 ※ワーク回収日は教科担任の先生から連絡があります。
3 校時 体 育	①保健分野 ・教科書 p.127～146 ・保健学習ノート(第 5 章)3 年 p.2～15、p. 30 ②体育分野 ・自分が選択した種目に応じる (サッカー・バレー・マット運動・ソフトボール)	①保健分野 ・授業の内容をよく振り返り、基本的な用語を押さえておきましょう。保健学習ノートの問題やまとめは必ず取り組むようにしましょう。 ②体育分野 ・授業で取り扱った用語の復習を行いましょう。特に種目特有の用語やルール、キーワードを中心に振り返っておくとよいでしょう。
技 術 家 庭	○技術科生物育成分野 プリント No.1 教科書 P.90～P.97 ○技術科情報分野 プリント No.1～No.2 教科書 P.212～P.217, P.238～P.247 ○家庭分野 教科書 p 2 6 ～3 7 プリント No.1～No.4	(技術) 授業中に行った作業の手順、使用した機械や工具の使い方などは確実に覚えておきましょう。 教科書だけでなく、プリントからの問題も出題します。丁寧に復習しておきましょう。 (家庭) 教科書やプリントをよく復習しておきましょう。幼児の体や心の発達、基本的な生活習慣、社会的な生活習慣、幼児にとっての遊びについては、特に振り返りをしておきましょう。教科書の太字のところも覚えておくとういでしょう。